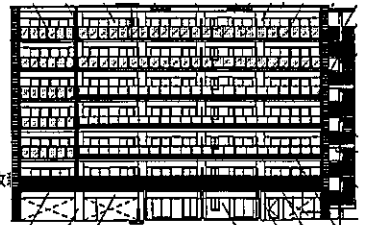
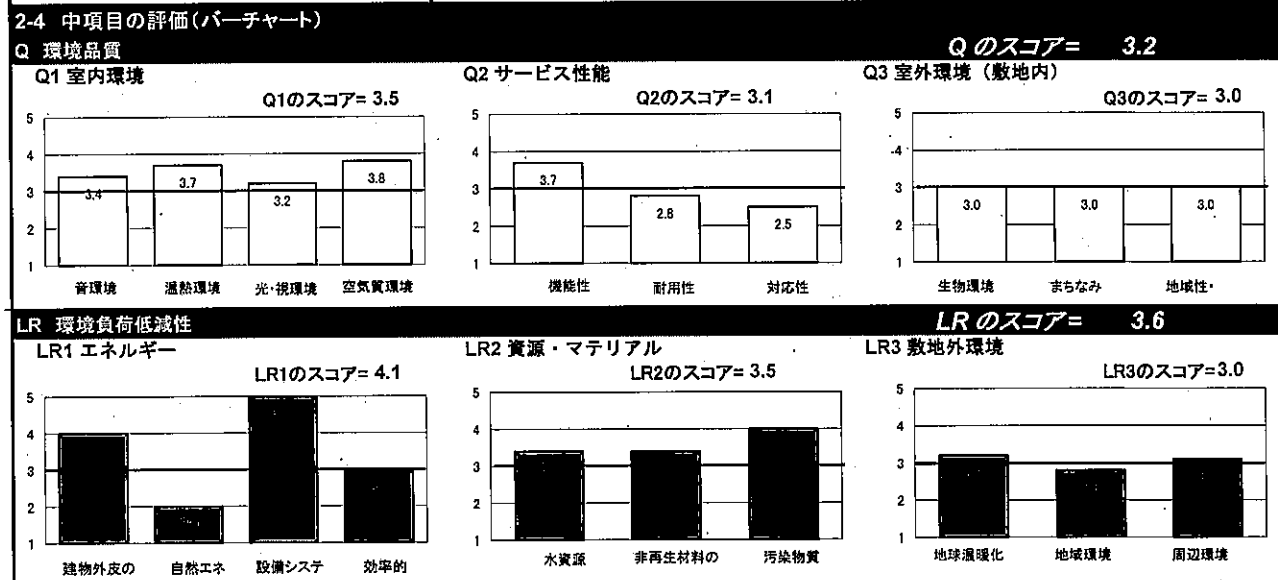
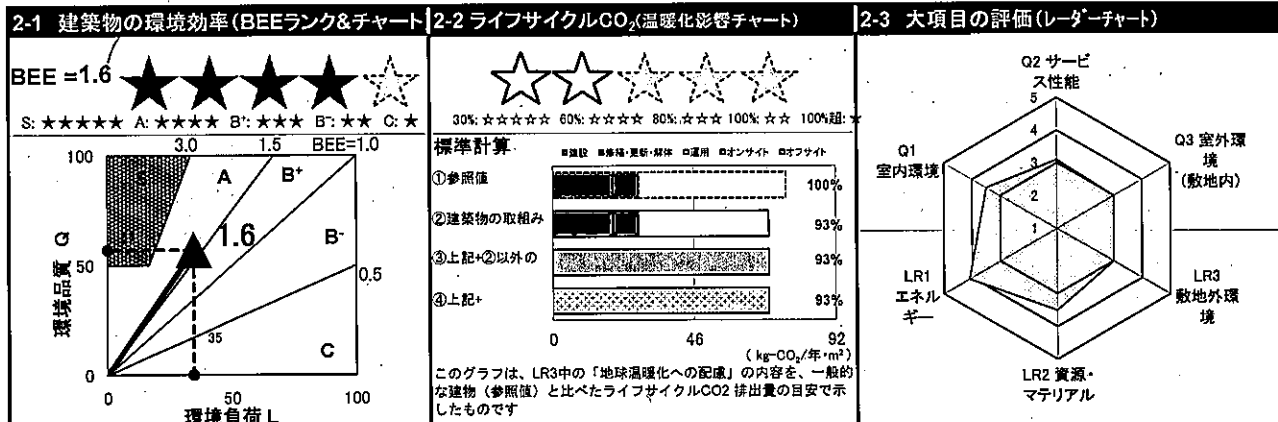


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロゼ向日市寺戸町二	階数		
建設地	京都府向日市寺戸町二ノ坪14番の	構造		
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日		
敷地面積	998 m ²	作成者		
建築面積	431 m ²	確認日		
延床面積	2,252 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項			その他
総合 建物全体の熱負荷を抑えた外皮計画にて、環境性に優れた建物としている。			特になし。
Q1 室内環境 自然光を十分取り込めるよう計画し、自然エネルギーの活用により環境負荷の低減を図るとともに、快適な室内環境の確保に努めた。	Q2 サービス性能 維持管理に配慮した設計、耐用年数の長い配管材料を採用するなど耐用性、信頼性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内には可能な限り緑化を設けたほか、敷地入口付近に樹木を計画することで、周囲に溶け込む建物となるように配慮した。	
LR1 エネルギー 外皮性能の向上を図るとともに、LED照明を採用し、エネルギー消費の低減に努めている。	LR2 資源・マテリアル 省資源化に配慮し、躯体以外にはリサイクル材を採用したほか、断熱材にはODPが低いものを使用した。	LR3 敷地外環境 広告物照明を設置せず、光害の抑制に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される